

海氷情報センターの閉所について

第一管区海上保安本部は、北海道周辺海域に海氷が認められなくなったことから、本日4月18日をもって今シーズンの海氷情報センターを閉所しました。

1. 第一管区海上保安本部では、海氷に起因する航行船舶の海難を防止するため、今シーズンは、昨年12月20日に海氷情報センターを開所し、航空機や巡視船艇及び海上保安部署による海氷観測のほか、協力機関からの情報を集約して、北海道周辺海域の海氷の状況を取りまとめ、海氷速報、航行警報、AIS（船舶自動識別装置）及び海の安全情報（Web サイト）により海氷情報を船舶運行者等に提供してきました。
2. 本日、衛星画像による解析結果により、海氷情報センターで情報提供の対象海域としている北海道周辺海域の北緯46度以南に海氷が認められないことから、海氷情報センターを閉所しました。
3. 今シーズンは、平年より海氷の南下スピードが早く、昨年12月28日から「海氷速報」を提供しましたが、閉所は、過去30年間の閉所日平均4月30日のところ、平年より12日早い閉所となりました。

なお、今シーズンの海氷状況及び海氷情報センターの活動状況は、別紙のとおりです。

今シーズンの海氷状況

1. 今シーズンの海氷の南下状況について

今シーズンは、平年より海氷の南下が早く、昨年12月28日から毎日、海氷速報の提供を行いました。

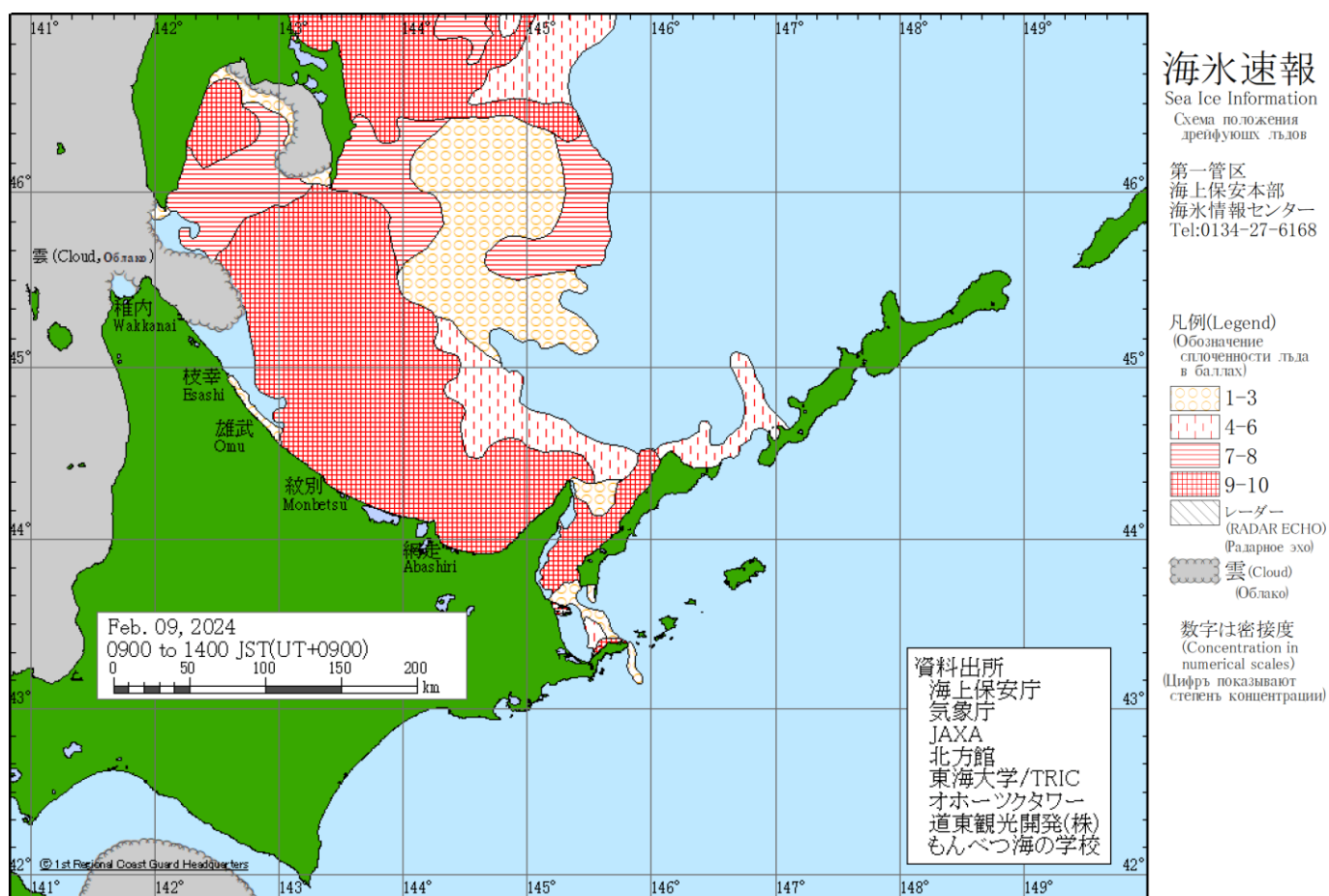
南下を続けた海氷は、令和6年1月20日に能取岬付近に接岸し、網走で流氷初日を迎えました。その後は、平年より早いスピードで勢力を拡大しました。

2. 海氷の勢力について

北海道のオホーツク海沿岸の海氷が最大となったのは2月上旬頃でした。

3月になると海氷は沖合いへと離れていき、中旬以降は融解が進んで密接度も下がり急速に衰退していきました。

(令和6年2月9日の海氷速報)



3. 海氷情報センターの閉所日について

今シーズンの海氷情報センターの閉所日は、昨年の3月30日より19日遅く、開設期間は、昨年の101日より20日多い121日となりました。

なお、過去30年間(1991-2020)の平均閉所日(4月30日)と比べ12日早い閉所です。

海氷情報センターの活動状況

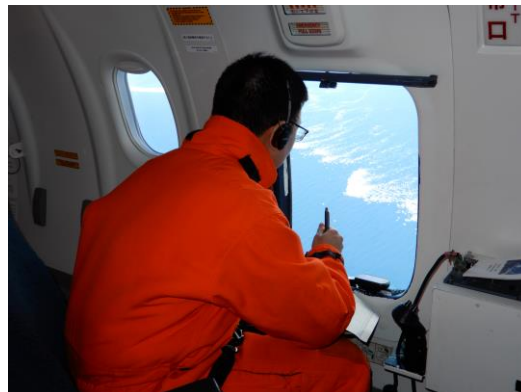
1. 海氷情報センター開設期間の主な活動

航空機による海氷観測

令和 6 年 1 月 11 日～4 月 12 日の期間



海氷観測中の当庁航空機



機内観測風景

2. 海氷情報の入手件数及び提供件数

海氷情報センターでは、海上保安庁による観測のほか、協力機関からの情報を集約して海氷状況を提供しています。

海氷情報の入手件数及び提供件数（令和 5 年 12 月 20 日～令和 6 年 4 月 17 日）

(1) 入手件数

海上保安庁による観測		海上保安庁以外の機関による観測	
・沿岸観測		・沿岸観測	
保安部署	480	独立行政法人 北方領土問題対策協会	37
・巡視船艇	66	オホーツク・ガリンコタワー株式会社	65
・航空機	14	道東観光開発株式会社	58
		もんべつ海の学校	86
		・人工衛星	
		気象庁海洋気象情報室	
		(海水解析図)	30
		宇宙航空研究開発機構 (JAXA)	
		(気候変動観測衛星「しきさい」)	234
		(陸域観測技術衛星「だいち2号」)	87
		東海大学情報技術センター	
		(地球観測衛星 TERRA 及び AQUA)	219
		(地球観測衛星 suomi NPP 及び JPSS1)	336
合 計 (件)	560	合 計 (件)	1152

(2) 提供件数

(イ)海氷速報	115 件	(昨年：87 件)
(ロ)一管区地域航行警報	35 件	(昨年：18 件)
(ハ)NAVTEX 航行警報	49 件	(昨年：27 件)
(ニ)AIS メッセージ	17 件	(昨年：19 件)
(ホ)海の安全情報	36 件	(昨年：19 件)